



横浜公園でこんにゃくをPR 横浜市と昭和村の友好交流イベントを開催！

第4回 こんにゃく芋掘り体験・こんにゃく作り見学

- 期日：11月18日（土）
- 場所：横浜公園
- 主催：横浜市、昭和村、（公財）横浜市緑の協会
- 内容：こんにゃくの収穫、こんにゃく作り見学、昭和村のPR等

■第4回目の収穫イベントが開催！

横浜市と昭和村は昭和47年に「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」を昭和村に開設して以来子供たちを中心に様々な交流を行っており、平成25年10月には友好交流協定を締結し、より一層の交流促進を図っています。その交流の一環として、「横浜市」・「昭和村」・「（公財）横浜市緑の協会」が共同でこんにゃく芋の掘り取り体験やこんにゃく作り見学・試食イベントを開催しました。このイベントは平成26年度から行われており、今年で4回目になります。

当日は、昭和村の堤村長も出席し、「群馬県は全国のこんにゃく芋の9割を生産しており、昭和村はその内の3割を生産している大産地で生産量日本一を誇っています。」と昭和村のこんにゃくをPRしていました。

■出来たてこんにゃくの食味大好評！

このイベントで使用されたこんにゃく芋は「横浜市」・「昭和村」・「（公財）横浜市緑の協会」の職員約10名が、平成29年6月21日に約300個（1年生と2年生を約200個、生子（きご）約100個）を植え付けたものです。追肥や農薬散布は行わず、除草作業のみ横浜市緑の協会が行いました。肥料が少なめだったのでやや小ぶりでしたが、収穫時の腐れはなく、生育は大変良好なことでした。

当日は、最初に昭和村職員が、こんにゃく芋の特徴や掘り方のコツ等を説明し、あらかじめ選ばれた横浜市民約40名がこんにゃく芋の掘り取りを行い、「見た目より重い。」と皆さん楽しそうにこんにゃく芋を掘っていました。また、昭和村の農産物をこんにゃく・みそ・ジャム等に加工している「昭和村さくら工房」のメンバーが、当日収穫されたこんにゃく芋を原料にした「こんにゃく」づくりが実演され、出来たてのこんにゃくの試食も行われましたが「お店で売っているのと違って大変美味しい。」と大好評でした。



横浜公園でのこんにゃく生育（8月時点）



こんにゃく芋の説明をする昭和村職員



こんにゃく芋掘りとり



こんにゃく作り見学